

1月放送総局長定例記者会見要旨

総局長会見としては、今年初めてになる。今年もよろしくお願ひ致します。
今年、NHKにとって、大きな改革を実行する特別な年となる。新年度、皆様に「NHKは変わった」と実感していただけるよう、引き続き、準備を進めていく。そうした中でまず迎えるのが、大きなイベント、北京オリンピック・パラリンピックだ。オミクロン株による感染の拡大で、東京大会に続き、コロナ禍の影響を大きく受ける中での開催となる。現地で観戦することが難しくなる中で、放送やインターネットでお伝えする私たちの役割は、ますます重要になると考えている。取材現場での感染防止策の徹底はもちろん、現地に派遣する人数をできる限り減らすなど、様々な工夫や対策を行って臨みたいと考えている。

(1) 「北京パラリンピック」関連

・放送・インターネットサービス概要、アナウンサー（正籙放送総局長）

パラリンピック関連について。今年3月4日から13日まで10日間にわたって開催される「北京パラリンピック」の放送とインターネットサービスの概要がまとまった。詳細は担当から。

(以下、陪席者)

まず、放送の概要。総合テレビでは、3月4日の開会式と13日の閉会式を生中継するとともに、Eテレでは、手話と副音声で解説放送をつけた内容を同時に放送する。大会期間中の午後の時間帯には、総合テレビで、アルペンスキーなど日本選手のメダル獲得が期待される競技を中心に、生中継や中継録画で放送する。夜10時台には、「デイリーハイライト」でその日の選手の活躍をまとめてお届けする。BS1では、午前中と夜の時間帯に、注目の競技を録画でお伝えする。テレビの放送時間は、前回のピョンチャン大会を若干上回る、およそ79時間になる見込み。放送予定は変更する可能性がある。詳細なタイムテーブルは、あらためてお知らせする。

インターネットサービスについて。NHKでは、今大会も特設サイトを公開する。「ライブ配信」では、すべての競技をリアルタイムでお楽しみいただける。すべての競技の「見逃し配信」や、日本選手の活躍を中心にまとめた「ハイライト動画」もご覧いただける。「NHKプラス」では、総合テレビとEテレで放送される競技の中継、それから、その関連番組の同時配信、「追いかけて再生」の機能で、リアルタイムでどこからでも観戦することができる。試合の途中でも、「追いかけて再生」で最初から試合を見ることができる。また「NHKプラス」では、期間限定の「北京オリ・パラ」のメニューアイコンも設ける。このアイコンをクリックすると、「競技別」や「日別」、メダルが決まった瞬間などの「名場面」を集めたプレイリストや、NHKのパラリンピック特設サイトなどで、様々なコンテンツを楽しんでいただける。

現地から開会式と閉会式の放送を担当するアナウンサーは、中野淳アナウンサーと中山果奈アナウンサー。中野アナウンサーは、ピョンチャン大会、東京大会に続いて3回目、中山アナウンサーは、初めての開閉会式となる。パラスポーツの取材経験が豊富な2人が、パラリンピックの魅力をしっかり伝えてくれると思っている。

・関連番組（小池副総局長）

北京パラリンピックの注目選手やパラスポーツの魅力についてお伝えする番組をご紹介します。まずは、BS1で放送する「武井壮のパラスポーツ真剣勝負 北京パラリンピック開幕直前スペシャル!」。これまで様々なパラ競技のトップアスリートに真剣勝負を挑み、選手や競技の魅力を伝えてきた武井壮さんが、冬のパラスポーツに挑戦する。日本代表選手に意気込みや勝負のポイントを聞きながら、大会の見どころをたっぷり紹介する。BS1「スポーツ×ヒューマン」では、2回続けてパラスポーツを取り上げる。1回目は、パラスノーボードの岡本圭司選手。雪山での事故で、右足に障害が残る大けがをしながらも、懸命のリハビリを経て競技を再開し、昨シーズン、世界のトップに上り詰めた。2回目は、パラノルディックスキーの“レジェンド”・新田佳浩選手と、新田選手を師と仰ぎ、時にライバルとなりながら成長を続ける川除大輝選手。それぞれの闘いや、大会にかける思いを描く。

さらに、パラスポーツの魅力をクイズ形式で深掘りするEテレの「ハートネットTV『パラマニア』」でも、2回にわたって「北京大会編」をお伝えする。1回目は、「アルペンスキー」と、「クロスカン トリースキー」、それに射撃を組み合わせた「バイアスロン」。2回目の放送では、「スノーボード」を取り上げる。日本選手が出場する、これら4つの競技の見どころや注目選手を紹介し、大会を盛り上げていく。

・「アニメパラ キャラバン」 ～パラアスリートがあなたの町に！～ (若泉副総局長)

パラリンピックが掲げる「共生社会」の実現に向けた新たな取り組みをご紹介します。昨年末にスタートさせた、視聴者の皆さんにパラアスリートの方々と交流して頂くイベント『アニメパラキャラバン～あなたの町に～』。イベントでは、パラスポーツの魅力を描いた5分間のアニメ『アニメパラ』を見たり、東京パラリンピックで活躍したアスリートの方々と競技を体験したりして、パラスポーツへの理解を深めていただく。そして、「共生社会」「多様性」「SDGs」などをテーマに意見を交わしていただく。脳科学者の茂木健一郎さん、様々なパラスポーツに挑戦してきた武井壮さんも参加する。ことし3月にかけて、首都圏の大学や小学校などで開催予定で、当日の様子は公開収録し、後日放送する。さらに、北京パラリンピックに向けて『アニメパラ』のラインナップも充実させる。これまで描いてきたのは12作品。今回、新たに、アルペンスキーとスノーボードのアニメをつくることになった。『アニメパラ』で冬の競技を描くのは初めて。『アニメパラ』は、英語や中国語など外国語でも展開していて、日本だけでなく海外の教育機関や福祉施設などで、教育コンテンツとして活用していただいている。今回のイベントと番組が、「共生社会」の実現に向けて行動するきっかけとなるよう願っている。なお、新型コロナウイルスの感染状況を見極めながら、万全な感染対策を取り、リモート開催等も含め、慎重に考えていきたい。

(詳細は報道資料を参照)

(2) 北京オリンピック、パラリンピックのユニバーサル放送 (正籓放送総局長)

北京オリンピックとパラリンピックのユニバーサル放送について。NHKでは、北京大会でも、障害のある人もない人も、子どもからお年寄りまで一緒にご覧いただけるユニバーサル放送をお届けする。開会式と閉会式については、オリンピック、パラリンピックともに、総合テレビとEテレで生中継し、Eテレでは手話と副音声解説をつけて放送する。そして、ぴったり字幕、手話、手話CG、副音声での解説放送などを取り入れた番組「みんなでハイライト」を、オリンピックで2回、そして、北京大会では新たにパラリンピックでも2回放送する。視覚や聴覚に障害のあるゲストもスタジオに招いて、多様な人たちとともに、オリンピック・パラリンピックの魅力や選手たちの活躍を伝えていく。2016年の「リオデジャネイロ大会」以来積み重ねてきた「ユニバーサル放送」のノウハウの上に、さらに「手話CG」などのテクノロジーも活用しながら、「見るだけでもわかる」、そして「聞くだけでもわかる」放送を目指す。

(詳細は報道資料を参照)

(3) 連続テレビ小説「カムカムエヴリバディ」「ちむどんどん」の放送日程 (若泉副総局長)

現在放送中の連続テレビ小説『カムカムエヴリバディ』の最終回、および次期連続テレビ小説『ちむどんどん』の放送開始日が決まったのでお知らせする。連続テレビ小説『カムカムエヴリバディ』の最終回は、4月9日土曜日、午前8時から、総合テレビほかで放送する。放送は全23週で、本編の最終回は、8日金曜日。9日土曜日は、最終週の振り返りを放送する。また、個性豊かな沖縄の四兄妹の本土復帰からの物語を描く『ちむどんどん』は、4月11日月曜日、午前8時から放送をスタートする。全体の放送回数については、現段階において未定だ。決まり次第お知らせする。

(詳細は報道資料を参照)